

令和2年1月

## 市長年頭記者会見次第

1. 日 時：令和2年1月6日（月） 10：00～ （約1時間）
2. 場 所：405会議室（市庁舎4階）
3. 出席者：市長、関係局長ほか
4. 案 件
  - （1）令和2年（2020年）金沢市長年頭記者会見資料
  - （2）その他

## 1 新年度予算編成に向けて

- ・新しい時代にあっても、本市が持続的に発展を続けていくため、次の一手を着実に打つことにより、まちの魅力と活力を高め、将来の世代に引き継いでいく。
- ・そのためにも、地域コミュニティの活性化と市民協働・広域連携の促進や、子供施策の充実など未来を担う人材の育成に積極的に取り組むほか、国連が提唱する持続可能な開発目標「SDGs」の達成に向けて、金沢の風土・歴史・文化を踏まえた本市独自の取り組みを推進していく。

## 2 元気で活力あふれるまちづくり

- ・新幹線延伸やリニア中央新幹線の開業を見据えた行動計画を作成。（2月予定）
- ・地方創生に向けて、SDGs推進等の視点を取り入れた第2次金沢版総合戦略を策定。（2月予定）
- ・安原異業種工業団地の一部の区画で、分譲予約を開始。（本日1月6日より）
- ・新たな価値の創造と子供達の独創力の育成を図る価値創造拠点の整備に着手。（6月予定）
- ・中央卸売市場の再整備に向けたあり方検討を行うとともに、改正卸売市場法の6月施行を踏まえ、条例を改正。（3月予定）
- ・市民や観光客の移動手段となる新しい「まちなり」の供用を開始。（3月1日から）
- ・簡易宿所等のあり方について、本市にふさわしい宿泊施設像を示すとともに、その実現を図るため、関係条例を改正。（3月予定）

## 3 伝統と創造で発展するまちづくり

- ・工芸技術の継承・発展や世界工芸分野との人材交流などを盛り込んだ「金沢KOGEIアクションプラン（仮称）」を策定。（2月予定）
- ・東京オリンピック・パラリンピックの開催機運を高める取り組みを積極的に推進。（フランス水泳連盟・ウェイトリフティング連盟、ロシア飛込連盟、フランス障害者スポーツ連盟）
- ・スポーツ庁、文化庁、観光庁が主催するスポーツ文化ツーリズムシンポジウムを開催。（1月15日：市文化ホール）
- ・歴史都市金沢から発信するこれからの木造建築の未来を模索。
- ・谷口吉郎・吉生記念金沢建築館において、著名な建築家の出展による第2回企画展を開催（3月20日から）

#### 4 子供を守り健やかに育むまちづくり

- ・子供施策の充実に向けて、かなざわ子育て夢プラン 2020（仮称）を策定。（2月予定）
- ・幼児教育・保育の質の向上を図るため、教育プラザ富樫内に幼児教育センター（仮称）を開設（4月から）
- ・保護者負担の軽減につながる病後児預かりサービスのモデル事業を実施。（2月から）
- ・中央小学校芳齋分校の改築と併せ、特別支援教育サポートセンター（仮称）の整備に向けた具体の準備に取りかかる。
- ・不登校対策に向けた様々な取り組みについて、相互理解を深めるとともに、連携を推進していくため「金沢市・不登校民間支援団体等連絡会」を継続的に開催。
- ・新たな共同調理場の設置について、旧県央土木総合事務所跡地等の取得に向けた協議を進める。

#### 5 誰もが安心して暮らせるまちづくり

- ・危機管理センターの開設に向けて防災情報システムを整備。（5月開設予定）
- ・新たな避難行動要支援者名簿を自主防災組織等に提供し、要援護者支援を充実。
- ・重要伝統的建造物群保存地区における防災強化計画の策定や防火水槽の設置など、対策を強化。
- ・ごみの減量と資源循環による持続可能な社会の実現に向けて、第6期ごみ処理基本計画を策定（2月予定）
- ・保育施設等のお散歩コースなどの緊急点検を踏まえ、未就学児を中心とした子供の安全対策を実施。
- ・公立病院としての役割や周辺病院との連携など、市立病院の再整備に向けた方向性を取りまとめる。（年度内）

#### 6 市民と共に進めるまちづくり

- ・次期協働推進計画の策定に向けて、地域団体やNPO等の活動や課題等を調査。
- ・金石地区において、新たに5町会で旧町名復活に向けた現況調査を実施。
- ・ガス事業及び発電事業における今後の経営形態の方針を示す。（年度内）
- ・広域連携をさらに促進するため、近隣市町との間で、公共交通や上下水道事業など、様々な分野での連携を一層深める。